

まちのきこり人育成講座第2回活動報告

作成 清水 環 2012 年 4 月 15 日(日)

1. 開催場所 : 向井 F1 の森
2. 開催日 : 2012 年 4 月 7 日 (土) 午前 9 : 00 ~ 15 : 00
3. 会 員 : 櫻井、清水、瀧口、瀧口、蒲田、岡島、水野、松永、大石、小坂、館、林 (12 名)
講座参加者 : 17 名 (欠席者なし)
4. 内容

午前 : [講師] 認定看護師 水谷しづよ先生

残念なことに、アラレが降るほど！かなり寒い1日となりました。そのような中でしたが、会員や参加者がこれまでに実際現場で起きたことや怪我などの事例を具体的に話し、その事例に沿って水谷先生に知識や応急方法を教授いただく形式としました。



周囲にあるもので固定。添木は関節ふたつ分より長く。身体と添木のすきまは埋めて安定させる。



足場の悪い山で怪我をすると立っているのも大変。



ヤッケ 4 枚を 2 本の雑木に通して担架を作りました。体重 80kg 以上の方も余裕で運べました。運ぶのも大変ですが、立ち上がるにもひと苦労です。しかし実際の山仕事の時こんなに人手があるかな？

前年までのような座学の良い点は落ち着いて聴きやすくしっかりメモをとれることです。

座学・現場講習どちらも一長一短あるので、感想を募っています。今のところ、実際に山の中で怪我の応急処置や心肺蘇生をやってみられたことはよかったけれど、やはり手順や知識をメモにとってきちんと把握するという点においては不十分だったと考えられるので、現場と座学に分けられたらよかった、というのがおおよその意見です。北勢地域におけるヒルの生息範囲や、ポイズンリムーバを使ったハチ刺されの応急処置など、会員が持っている貴重な経験ももっと聴くことに集中していただける環境で伝えたかった、とも思いました。引き続きの検討課題です。



午後 : [担当] 櫻井さん

寒かったので体を動かして温めたかったこともあり、第1回にできなかったF1の森をハイキングしました。間伐地（特に間伐した木を等高線に沿って置いているところ）や植樹地、鹿害などを見学していただきました。

その後、危険に対する認識を高め、現場で動く時や道具使用時の安全について説明。水源の森プログラムや森を守るための理論や技術について説明する時間が足りませんでした。次回「森を測る」など、今後の講座でおいおい伝えていくことになります。

— 以上 —